

TDU Agora



工学部第二部 実践知重点課程フォーラム

～大学における企業人教育を考える～ ……1

CONTENTS

今月の顔 矢口博之准教授 (理工学部 情報システムデザイン学系) … 2	キャンパスよもやま情報 …… 6
キラリ★電大生 東京千住キャンパス 硬式庭球部 …… 3	News …… 7
TDU LABO 建築設計研究室 (未来科学部 建築学科) …… 4	Information …… 11
TOPICS …… 5	



実践 概要

- 社会人課程 (実践知重点課程) 設置の経緯と実践知重点科目の設計
- 企業技術者の学びに向けたメニュー化
- 改編「前/後」における「違い」の「見える化」
- まとめ

特集

工学部第二部 実践知重点課程フォーラム ～大学における企業人教育を考える～ 東京千住キャンパス事務部

本年度、工学部第二部では企業人教育の充実のため、社会人課程(実践知重点課程)を開設しました。あわせて、「働きながら学びたい」企業人により学びやすい場を提供するため、実践知プログラム(履修証明制度)、機械分野の授業15回の聴講、公開科目、1科目履修等、短期のプログラムを開講しました。去る1月26日にはフォーラムを開催し、この1年間を総括するとともに、企業の人材育成において、都内で唯一の夜間私立工科系学部である本学部に求められることについて意見交換を行いました。

安田浩学長の挨拶の後、佐藤太一工学部第二部長より本課程の教育の特徴について説明があり、「前年度に比べ、実務家教員担当科目が40%増、アクティブラーニング科目が35%増、分野横断科目は0から9科目」と右肩上がりの数字に、参加者も1年の成果に納得の表情でした。

受講者参加型のミニ講義「応用失敗学」では、実際に起こったエスカレーター逆走事故が題材でした。事故当時の映像、マスコミ報道、事故調査委員会の報告書をもとに、担当の寿楽浩太准教授、藤田聡教授の軽快なやりとりの後、「さて、事故の本当の原因は何? 対応策は?」の問題提起があり、全員がワークシートに向



ミニ講義のグループワークで意見交換する社会人学生

かって真剣そのもの。学生・教員・事務職員の3グループによるプレゼンテーションに対して、「それはどうして?」、「だとしたら、どうする?」という先生方の鋭いツッコミに会場は笑いに包まれ、発表者の窮地に陥りつつも巧妙な返答に拍手が起きました。ぜひ本当の授業を受けたいとの声も聞かれ、本課程の楽しさを実感できた1時間でした。

最後に、「実践知教育に期待する」をテーマに、佐藤工学部第二部長の司会のもと、企業代表の駒野目裕久氏(池上通信機株式会社)、日座和典氏(株式会社日立製作所)、社会人学生代表の岡田光央さん、三上英司さん、教員代表の清水康夫教授によるパネルディスカッションが行われました。企業人に求められる能力は何か、働く現場では授業で得られたことがどのように活かされるか等、貴重な意見交換の時間となりました。



佐藤工学部第二部長から本課程の教育の特徴について説明



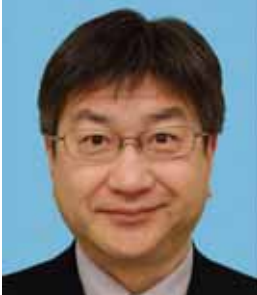
寿楽准教授によるミニ講義



パネルディスカッションで発言する社会人学生代表の三上さん

当日は、約80名の方にご参加いただき、企業人教育に対するこれからの大学教育の可能性を実感したフォーラムとなりました。ご参加いただきました皆様及びご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

人間工学の視座から 情報メディアを使いやすく、わかりやすく ～人にやさしいメディアの創造～



理工学部
情報システムデザイン学系
矢口 博之 准教授

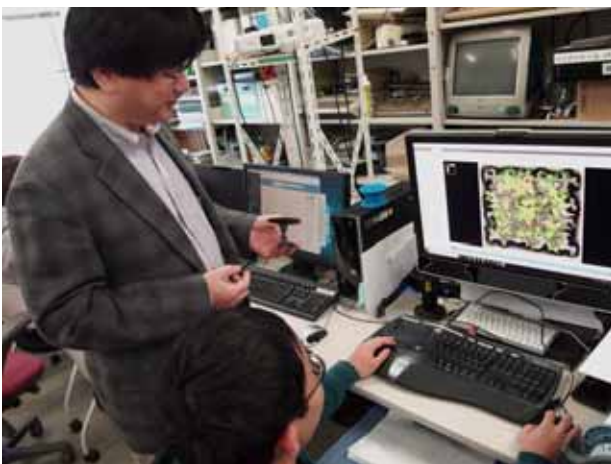


2018年7月に東京ビックサイトで開催された展示会
IGAS2018での研究発表

出版社における電子書籍・ デジタル雑誌ビジネス実態調査2018

人間工学とは、安全で使いやすい道具や機械、システムをつくることを目的とする実践的な学問です。私は情報メディアの特性を人間工学の視座から理解し、その上で、どうすれば使いやすく、わかりやすい情報メディアができるか、について研究しています。

私が関心を持っている情報メディアのひとつに電子書籍・雑誌があります。2018年にも、約1,000社の出版社を対象に、株式会社文化通信社、一般社団法人電子出版制作・流通協議会と共同で、電子書籍・雑誌に関するビジネス実態調査を行いました。この結果は、マスコミ業界の総合専門紙である「文化通信」(2018年11月5日発行)に掲載されました。調査の結果、電子書籍はコミックを中心に市場を拡大しつつあり、雑誌のデジタル化も急速に進んでいることが確認できました。しかし電子書籍を手掛ける出版社はそれほど増えておらず、依然として上位約7%の出版社が電子書籍全体の約80%を発行しているなど、いくつかの課題も浮き彫りになりました。



視線計測装置を用いた視覚認知特性の研究風景

社会と連携しながら実践的な研究を推進

誰にでも読みやすい特性を持つとされるユニバーサルデザイン(UD)フォントは、高齢化社会の進展に伴ってさまざまな場面での活用が期待されています。私が発明した文字の視認性評価法(特許取得)は、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会、株式会社イワタ、株式会社電通が共同開発したUDフォント「みんなの文字」の開発プロジェクトにおいて重要な役割を果たしました。この「みんなの文字」は一般社団法人日本印刷学会より技術奨励賞に選出されるなど高評価を得ています。現在、東京オリンピック・パラリンピック、大阪万博の開催を見据え「みんなの文字」の多言語対応に取り組んでいます。

今後も「実学尊重」の理念のもと、社会と連携しながら使いやすい、わかりやすい情報メディアをつくる実践的な研究を推進していきたいと考えています。



ユニバーサルデザイン(UD)フォント
「みんなの文字」

矢口 博之 准教授 プロフィール (理工学部 情報システムデザイン学系)

Profile

1988年	3月	東京電機大学大学院 理工学研究科 システム工学専攻 修了
	4月	東京電機大学 理工学部 経営工学科 助手
1996年	3月	東京電機大学 博士(工学) 取得
	4月	同 理工学部 経営工学科 講師
1999年	4月	同 情報システム工学科 講師
2000年	4月	同 情報社会学科 助教授
2007年	4月	同 情報システムデザイン学系 准教授



夏合宿を終え大会に挑む部員たち

東京千住キャンパス 硬式庭球部

関東理工科大学硬式庭球連盟 6部リーグ昇格

～素晴らしい結果に恵まれた1年～

主将 岸 涼(工学部 電気電子工学科 電子光情報コース 3年)



新人テニストーナメント準優勝

硬式庭球部は、71名(男子:1年生18名、2年生17名、3年生14名、4年生13名、女子:1年生1名、2年生6名、3年生2名)で活動しています。

人数は多いですが使用できるコートは少なく、日々工夫しながら練習をしています。練習とそれ以外の時間でメリハリをつけ、学年を問わず仲の良い部活です。また、結果だけにこだわらず人間性を重視し、様々な人から応援していただけるよう挨拶や礼儀も徹底しています。

現在、関東理工科リーグと関東大学リーグに所属しており、それぞれのリーグで昇格を目標に活動しています。目標達成のために、団体戦に出場するレギュラーの実力を高め、個人戦でも部員全員が実力を出せるよう練習やミーティングを重ねてきました。

その結果、500名程が出場する関東理工科リーグ新

人テニストーナメントにて準優勝を飾ることができました。また、チームが一丸となり団体戦に臨んだ結果、男子が関東理工科リーグ7部で優勝。その後の入れ替え戦にも勝利し、6部昇格を果たしました。これは2年連続の昇格でした。

関東大学リーグでは、7部の予選リーグを突破し決勝トーナメントに進むことができました。トーナメントでは優勝することができませんでしたが、決勝トーナメントに進むことができたのはおよそ30年ぶりの快挙となりました。非常に厳しい戦いの中でしたが、大事な場面で勝利をあげることができました。

今年度は結果に恵まれた年となりましたが、満足せず良いものを後輩に伝えていき、更なる発展に尽力していきたいと思っています。応援の程よろしく願いいたします。



試合前の円陣



6部昇格を決めた防衛大学校との試合

建築設計研究室

～建築デザインとその設計プロセスを追求する～

未来科学部 建築学科
日野 雅司 准教授



建築設計という仕事には、大きくは意匠設計・構造設計・設備設計と呼ばれる区分があり、本学の建築学科にもそれぞれに対応した研究分野があります。私たちの「建築設計研究室」は主に意匠設計に対応しています。

「意匠」という言葉は外来語である「デザイン」を日本語訳するために選ばれた言葉で、一般的に狭い意味での「デザイン」、つまり見た目の美しさや格好良さを表していると思われがちです。しかし、本来は「意匠を凝らす」という言葉にあるように、「創意工夫」という意味を持っています。つまり意匠分野とは「創意=Creativity」を持って、新しい建築の有り様を追求することが主な役割であり、そのための「提案力」を養うことを目標としています。

私たちの研究室では、実在する敷地を対象にデザイン提案を行ったり、まちづくりに参加したり、という実践的な活動の特徴としています。今年度も山梨県甲州市や新潟県十日町市において、具体的な社会的課題

やモノに触れながらまちづくり提案やアートイベントへの参加を行ってきました。大学の授業だけでなく、私自身も建築設計の実務において日々提案作成を行う建築家でもありますし、所属学生は自主的にアイデアコンペに提案を応募しています。実践を通して、これからの建築デザインを考える研究室です。

また、主な研究対象としている木質構造の公共建築デザイン研究や、災害復興におけるパブリックスペースのデザインプロセス研究も、建築設計実務に直接的に役立てることができるリサーチとなることを目的としています。

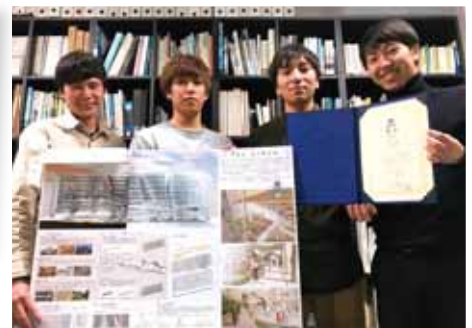
「デザイン」というツールを使って社会へ提案していくためには、「どのように」デザインするか、というだけではなく「何を」デザインするか、という視点が重要になります。これまでデザインの対象だと思われていなかったものを発見すること、デザインを役立てる新しいフィールドを探ること、常にそういった「何」に対してアンテナを立てることが求められています。



研究室内の様子



バイオマス発電用ペレット収蔵施設の実施コンペ最優秀賞作品



ヒューリック学生アイデアコンペ
佳作受賞メンバー

「電大ガールズ」 D-girls

期末テストも終わり大学生活に一区切りついたところで、D-girlsも新体制となりました。2019年もD-girls主催の運動会、クリスマス会、オープンキャンパスへの参加等を企画中です。

2018年は新しく外交班ができ、新たな試みとして理系の女子高生向けの進路に関するイベントに参加しました。2019年もこのような学外へ向けたイベントへの参加を考えています。

たくさんの方に楽しんでいただけるよう頑張ります！皆さんのご参加をお待ちしております！



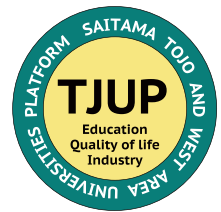
新体制となって初めてのミーティング

電大ガールズリーダー

工学部 応用化学科 2年 小菅 はるな

TJUP WG2 共同FD/SD ～履修証明プログラムの開設に向けて～

学長室
理工学部事務部



平成30年8月1日付発足した埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(以下、TJUP)の活動の一環として、平成31年1月10日に埼玉鳩山キャンパスにて、TJUP WG2活動テーマ(履修証明型市民・町民大学の提供)のFD/SDを開催しました。

当日は、10大学・短期大学より合計24名の教職員が参加され、本学より履修証明制度の概要説明を行った後、TJUP会員校の中で履修証明プログラムを実施している大学(本学、女子栄養大学、山村学園短期大学)より、以下の事例紹介がありました。



10大学・短期大学より24名が参加

大学・短期大学	履修証明プログラム	備考
東京電機大学	①国際化サイバーセキュリティ学特別コース(通称CySec) ②実践知プログラム	文部科学省 職業実践力育成プログラム(通称BP)認定
女子栄養大学	健康寿命延伸のための食環境整備に関わる高度人材養成プログラム	文部科学省 職業実践力育成プログラム(通称BP)認定
山村学園短期大学	①子育て支援プログラム ②高齢者学び直しプログラム	—

続いて、本学柏崎尚也副学長より、履修証明制度を用いた市民・町民大学構想について説明があった後、参加者間で意見交換を行いました。

参加者からは、履修証明プログラムの広報及び履修者数の確保についての課題、キャンパス間を跨いだ運営の難しさ、平成30年11月26日公表の文部科学省中央教育審議会「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」の内容を先駆けたTJUPの取り組み等の意見交換があり、今後の履修証明プログラムの設置等に向けた具体的な検討を進めることを確認しました。

引き続き、TJUPでは会員校(18大学・短期大学)と連携し、様々な取り組みを積極的に展開していきます。



本学の事例紹介

TJUPのホームページ ▶ <https://www.tjup.taibokudo.jp/>



女子栄養大学の事例紹介



山村学園短期大学の事例紹介



履修証明制度を用いた市民・町民大学構想説明

東京千住キャンパス

インターンシップの成果発表



1月24日に、本学の協定校であるフランス国立高等精密機械工学大学院大学(ENSMM)からの研究生で、企業でインターンシップを行っていたBastien Poitrimolさんが成果発表を行いました。

インターンシップ先の株式会社小松精機工作所(長野県諏訪市)の社員の方と、指導教員である工学部 機械工学科の松村隆教授が評価しました。Poitrimolさんは、EBSD(Electron Backscatter Diffraction)に関する内容と、諏訪市のコマ大会に出場するためのコマ製作過程について発表を行いました。松村教授から技術的な質問があり、今後の研究に向けて新しい視点を吸収している様子でした。(国際センター 堀田)

埼玉鳩山キャンパス

北坂戸にぎわいサロン作品展



1月28日から2月15日に坂戸市役所にて、北坂戸にぎわいサロンの作品展が開催され、多くの市民の方々にぎわいました。

北坂戸にぎわいサロンは、坂戸市、UR、本学で地域の活性化を目的として運営しており、今年で開設6年目となります。本学の教員、学生、地域住民ボランティアが講師や取りまとめを行い、ものづくり講座やパソコン相談、留学生との交流会等、様々なイベントを行っています。

興味のある方は理工学部事務部(049-296-0042)へご連絡ください。

(理工学部事務部 高木)

東京小金井キャンパス

文化講演会

1月31日に武蔵野市民文化会館にて、文化講演会が開催されました。「ディズニー キセキの神様が教えてくれたこと」という演題でディズニーの神様シリーズの著者である鎌田洋先生のお話を伺いました。

講演後、質疑応答の時間では質問の手がたくさん挙がり、生徒の熱心さが伝わる場面となりました。(生活指導部 内村)



新しい時代を拓いた科学・技術 vol.18

ヴェルナー・フォン・シーメンス ドイツ ● 1816年～1892年

実用的なダイナモ開発に成功

**「アイデアだけなら、ほとんど価値がない。
発明における価値は、実際に使えてこそ存在するのだ」**

電機・通信の大手多国籍企業「シーメンス」の創業者

貧しい家に生まれたシーメンスは学校を中退して陸軍に入隊し、工学を学びました。技術将校として勤務中に、「電磁式指針電信機」と「地下ケーブル」を発明。除隊後の1847年、機械工のハルスケとともにシーメンス・ウント・ハルスケ電信機製造会社を設立し、国際的な企業に育て上げました。1866年、自励式自動発電機(ダイナモ)を発明し、蒸気機関に代わり新たな電気の動力(電力)が誕生しました。1879年には電気機関車を実用化、1880年には世界初の電気式エレベーター開発に成功。電気工学の分野で目覚ましい活躍を続けました。



コンダクタンス(導電率)の国際単位系である「ジーメンス(siemens、記号はS)」は、彼の名が由来。ちなみに、鉄鋼用のシーメンス平炉の発明者、蓄熱式加熱法を用いたガラス用のシーメンス炉の発明者は、14人の兄弟のうちの2人。ところで、東京電機大学の創立者、廣田精一と扇本眞吉もシーメンス・ウント・ハルスケ社に籍を置きました。

「二十歳の祝」合同クラス会

中学校・高等学校同窓会

今年、東京電機大学中学校・高等学校が創立80周年、中学校・高等学校同窓会が60周年を迎えることを機に、同窓会主催、東京電機大学校友会協賛、クラス委員を発起人として、1月12日に東京千住キャンパスにて、第1回「二十歳の祝」合同クラス会を開催しました。

卒業生(平成29年3月卒業)153名が参加し、当時担任だった先生方も出席してくださいました。あいにく大久保靖校長先生は体調不良で欠席されましたが、向芝京太元校長先生が大久保先生の祝辞を代読して二十歳をお祝いしました。

卒業生が中心となって懇親会を盛り上げ、旧友や担任の先生方と語り、ビンゴ大会や思い出ビデオの上映など、終始卒業生の笑顔・歓声の絶えない会となりました。



卒業生149名が参加

2018年度春季海外短期研修 第2回オリエンテーション

国際センター

1月29日に東京千住キャンパスにて、春季海外研修「シドニー大学英語短期研修」、「イギリス英語研修」、「中原大学中国語研修」、「ケンブリッジ大学 Winter Science Programme」、「ENSMM PBL 研修」の参加学生を対象に2回目のオリエンテーションを行い、38名の学生が参加しました。

参加学生は、配布された研修ごとのしおりをもとに、集合場所や荷物に関する事、出国と入国手続きの仕方、研修先の情報、気候や電圧の違い、緊急連絡先等について説明を受けました。保険については、どの範囲までカバーされている保険であるか確認し、危機管理については日本と海外の治安の違いや犯罪の手口、海外で実際に起こった犯罪のビデオを観て気を付けるべきことを学びました。また、スマートフォン・タブレット用安否確認ツールについても必ず研修開始日までに登録することとしました。

海外渡航が初めてという学生も多くいます。語学だけにとどまらず、文化や治安も異なることを学び、注意すべきことには用心して、沢山のことを学んで成長して戻ってくることを期待しています。



真剣に説明を聞く学生

彩の国ビジネスアリーナ2019

研究推進社会連携センター(産官学交流センター)

1月30日と31日に、さいたまスーパーアリーナで開催された彩の国ビジネスアリーナ2019は、「見つけよう彩新技術、つなげよう未来へ」をスローガンに、中小企業の受注確保・販路開拓、技術力向上等を目的とし、広域的な企業間ネットワーク形成による新たなビジネスチャンス創出の場を提供する展示商談会です。

本学ではロボット・メカトロニクス学科から、使用用途の探索を目的として藤川太郎助教の「はばたきロボット」、技術移転先の探索を目的として井上淳助教の「足底部に機構的特徴を有する下肢装具」を出展し、ブース展示に加えて「大学お宝シーズ 発掘ツアー」に協力しました。

2日間で17,192人の方がご来場され、盛況の内に閉幕できましたことを厚く御礼申し上げます。



ブースで説明する産学連携コーディネーター

受賞
情報

顕著な活躍をした電大人を紹介します。

**横田 航也さん**(4年)

工学部 機械工学科 先端機械コース(流体制御研究室)

第17回 IBB BioFuture Research Encouragement Prize 研究発表会

優秀賞

平成31年1月25日

**磯本 剛さん**

平成30年3月 工学研究科 電気電子工学専攻 電気電子システムコース 修了

電子情報通信学会回路とシステム研究会

学生優秀賞

平成31年1月25日

**金子 仁さん**(4年)**金田 啓太郎さん**(4年)**佐藤 泰彦さん**(4年)**中川 雄大さん**(4年)**村上 賢太郎さん**(4年)

未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科(情報駆動知能化研究室)

川越 健太さん(4年)**小谷 宙さん**(4年)**ソウ キンさん**(4年)**中村 正太郎さん**(4年)**藤原 翔さん**(4年)**山門 拓己さん**(4年)

未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科(情報駆動制御研究室)

第2回 HAKKO 熱の実験コンテスト

金賞

平成31年1月21日

**武川 純也さん**(3年)

工学部 電気電子工学科 電気電子システムコース

第6回 2018はんだ付けアートコンテスト

優勝

平成30年12月25日

**青井 雄亮さん**(修士1年)

未来科学部 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学専攻(コンピュータネットワーク研究室)

UBICOMM 2018

Best Paper Award

平成30年11月22日

**並木 敬太郎さん**(4年)

工学部 電気電子工学科 電気電子システムコース(デジタル信号処理研究室)

電気学会東京支部主催 第9回学生研究発表会

優秀発表賞

平成30年8月31日

(受賞日順)

後援会だより



第5回常任評議員会

第5回常任評議員会

1月26日に東京千住キャンパスにて、東京電機大学後援会第5回常任評議員会を開催しました。今回は主に平成31年度活動方針について審議を行い、後援会の3大事業である父母懇談会事業、広報事業、学生支援事業に関して以下の通り、平成30年度事業を踏襲した形で運営することが承認されました。

なお、本常任評議員会で承認された平成31年度活動方針については、5月に開催予定の後援会評議員会にて正式に承認される予定です。

①父母懇談会事業

キャンパス会場に加え、地方10会場で開催

②広報事業

学苑の年3回発行、父母のための東京電機大学ガイドの発行、学生生活スタートブックの発行、後援会メールマガジンの発信

③学生支援事業

クラブ活動への補助、就職行事への補助、イベント支援・アイデアコンテストへの補助、食生活改善・学内環境整備への補助、こころとからだのサポート24への補助、仲間づくり支援への補助

校友会だより



第15回職域電機会長会

1月26日に東京千住キャンパスにて、第15回職域電機会長会を開催し63名の方がご出席されました。職域電機会とは、同一企業・職種に所属の卒業生が作る校友会の公認団体です。

プログラムでは新たに「博士号取得のご案内」に加え、桑田佳雄情報環境学部事務部長および小泉寿男名誉教授から、電機会会員の積極的な博士学位取得についてご案内しました。

また、今回の目玉として「電機会が学園に期待するもの」と題し、事前に実施したアンケート結果をもとに、柏崎尚也研究推進社会連携センター長が司会となって意見交換をいただきました。そこでは、会長から多くの意見・要望が出され、時に学長がそれに答えるといった活発な会となりました。



63名の方がご出席

出版局 新刊のご案内

今月は高度情報処理技術者の試験対策本4点をご紹介します。
過去に出題された問題の中から厳選して収録。近年の出題傾向と重点項目を完全網羅。



<情報処理技術者試験シリーズ> 東京電機大学編



- プロジェクトマネージャ試験 午前 厳選問題集
A5判 352頁 3,672円
- データベーススペシャリスト試験 午前 厳選問題集
A5判 356頁 3,672円
- エンベデッドシステムスペシャリスト試験 午前 厳選問題集
A5判 336頁 3,672円
- システム監査技術者試験 午前 厳選問題集
A5判 338頁 3,672円

学生だより

GPS・QZSS ロボットカーコンテスト2018

準優勝 ～自律走行するロボットカーを製作～

チーム TDU_Craft.Lab
 情報環境学部 情報環境学科 3年
 安部賢二、阿部行秀、鈴木翔悟
 林 直樹、武藤大地

GPS・QZSS ロボットカーコンテスト2018は、11月11日に東京海洋大学越中島キャンパスで行われました。このコンテストは、GPS及びQZSS(準天頂システム)を使い、自律走行するロボットカーを製作し競技するコンテストです。

競技内容は、ダブルパイロン+とソフトウェアコンテストの2種類があり、本学はダブルパイロン+に参加しました。ダブルパイロン+のルールは、3分間にWaypointを周回することで得られるポイントなどを競います。Waypointの通過では、パイロンが2つ置いてあり、ロボットカーは自律走行により8の字に周回しポイントを得ます。

昨年は台風で中止となりましたが、今年は無事に開催され、19チーム中準優勝することができました。また、大会で苦労したのはプログラムの調整です。練習場所と大会会場の環境の違いを調整するのが大変で、最後の最後まで悩みました。この経験を生かし、次回は一から機体を作り直して優勝を目指したいと思います。

本大会に参加するにあたり、川勝真喜准教授



チーム TDU_Craft.Lab

よりセンサーを提供していただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。また、大会運営をしていただいたロボットカーコンテスト事務局や大会参加者の皆様にも感謝いたします。

(安部賢二)



製作したロボットカー

時代を越えて—東京電機大学の軌跡

大学躍進期(2) | Vol.18 |

〈昭和52年～昭和59年〉

昭和57年、中野道夫が第三代学長に就任。阪本学長は名誉学長となる。同年9月、学園は創立75周年記念式典・祝賀会を挙行了した。

これに先立ち学園は、種々の記念事業を策定し、同時に創立75周年記念事業募金委員会を組織し、募金活動を開始した。

厳しい経済状況下にあったが、創立以来の堅実な学風、ならびに本学の社会的使命とそ



創立75周年記念式典

の活動に、関係各位の理解と協力が得られ、所期の目標を達成した。

出典「学校法人東京電機大学75年史 小史」
 (一部読みやすく修正しています)

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

鐘鳴りて児童の去りし兔小屋
 冬の駅影長くあり本読む人
 雁や夕焼け空に棹さしつ

廻子(大園成夫)

七美男(松田七美男)

知多(絹川博之)

Information

サイバーセキュリティシンポジウム in TDU 2019

研究推進社会連携センター(研究推進部)

本学は、文部科学省 平成29年度「私立大学研究ブランディング事業」に採択され、採択事業「グローバルIoT 時代におけるセキュアかつ高度な生体医工学拠点の形成」において、医用工学とサイバーセキュリティを融合し、研究を推進しています。本シンポジウムでは、上記研究の平成30年度の研究成果及び今後の取組みについて発表します。

- 日 時 3月11日(月) 13:00~16:00
場 所 東京千住キャンパス1号館2階 丹羽ホール 北千住駅東口(電大口)徒歩1分
内 容 ◎講演Ⅰ 【招待講演】
「医療分野などで要求されるIoTデバイスのトラスト」
セコム株式会社IS研究所マネージャ 松本泰氏
◎講演Ⅱ
「東京電機大学私立大学研究ブランディング事業における
高度セキュアIoT医療機器システム実現のための研究状況」
総合研究所 佐々木良一 特命教授
◎講演Ⅲ
「セキュリティとメンテナビリティを考慮した医療用IoT機器の研究」
工学部 電気電子工学科 植野彰規 教授
◎講演Ⅳ
「IoT向けの軽量で安全なセキュアシステム」
システムデザイン工学部 情報システム工学科 宮保憲治 教授
- 定 員 300名
参 加 費 無料 ※要事前申込み
参加ご希望の方は下記URLよりお申し込みください。
<http://kokucheese.com./event/index/554424/>
お問合せ 研究推進社会連携センター(研究推進部) TEL:03-5284-5230



東京千住キャンパス写真部 写真展

東京千住キャンパス写真部の写真展を開催します。3月に卒業を迎える部員たちが4年間で撮影した写真を、各自が設けたテーマに沿って展示します。

- 日 時 3月11日(月)~3月16日(土) 10:00~17:00(入場無料)
※11日(月)は13:00開館
場 所 東京千住キャンパス1号館1階 電大ギャラリー 北千住駅東口(電大口)徒歩1分
お問合せ 総務部(企画広報担当) TEL:03-5284-5125



編集後記

受験シーズンも終わりに近づきました。春休みで閑散としていたキャンパスに、試験日には大勢の受験生が訪れ、学内は緊張感に包まれました。春はもうすぐです。あの日の受験生たちに、4月にキャンパスで会えるのを楽しみにしています。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail: soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。

